

「第3回 揖保川流域治水協議会」開催

R2.12.07

～新たな関係機関も加わり事前防災対策の加速化に取り組む～

－姫路河川国道事務所－

姫路河川国道事務所では、気候変動による水災害リスク増大に備えるため、河川・下水道管理者等が行う治水対策に加え、流域全体のあらゆる関係者が協働して水害を軽減させる「流域治水」を計画的に推進することを目的とした「揖保川流域治水協議会」を設置しています。今回、近畿農政局など新たな関係機関を加え開催しました。

協議会では、全国一ため池が多い兵庫県の地域特性を踏まえ、農地・農業施設等の治水活用による事前防災対策の効果などについて、学識者の神戸大学田中丸教授を迎え、ご講演いただく他、関係機関からの支援施策や取組紹介により、ため池等による事前防災対策を加速化させる重要性を確認しました。

概要

- 開催日時：令和2年12月7日（月）14:00～
- 場所：たつの市役所 4階 大会議室
- 参加者：宍粟市、太子町、たつの市、姫路市、兵庫県、近畿農政局
兵庫森林管理署、神戸地方気象台、姫路河川国道事務所
- 講演：「ため池等による洪水軽減効果について」神戸大学教授 田中丸 治哉氏
- 議事：（1）規約変更について
（2）関係機関における取組について
（3）総合治水における関係者との協働について
（4）今後の取り組みについて



神戸大学教授
田中丸 治哉氏

講演の様子

出席者



田中丸
神戸大学教授



福元 宍粟市長



服部 太子町長



山本 たつの市長



西谷 姫路市
下水道局 河川部長



吉川 神戸地方気象台
水害対策気象官



河野 兵庫県
総合治水課副課長



三宅 兵庫県
総合治水課主幹



谷垣 兵庫県
農地整備課副課長



藤原 近畿農政局
設計課農業土木専門官



石上 林野庁
兵庫森林管理署長



磯部 姫路河川国道
事務所長

講演

講演では、ため池の事前放流による洪水軽減効果について、淡路地区(1,902箇所)、丹波篠山地区(446箇所)のため池を対象に洪水流出解析を行い検証した結果、ため池の満水面積と流域面積からピークカット率を推定できる対数曲線が示され、今後、ため池の効果(整備)の優先度を検討する手法の一つとして紹介された。

関係機関の取組

- 近畿農政局農村振興部設計課……………農地・農業水利施設を活用した流域の防災・減災の推進の取組
- 兵庫県農政環境部農地整備課……………農業用ダム・ため池・田んぼを活用した総合治水活動
- 兵庫県県土整備部総合治水課……………ため池治水活用拡大促進事業～ため池を活用した治水対策の取組～
- 林野庁中国森林管理局兵庫森林管理署…揖保川流域における国有林の取組
- 気象庁神戸地方気象台……………流域における気象防災に一層貢献するための取組
- 兵庫県県土整備部総合治水課……………総合治水「ながす」「ためる」「そなえる」における関係者との協働

【問い合わせ先】

国土交通省 近畿地方整備局 姫路河川国道事務所 調査課
〒670-0947 姫路市北条1-250 TEL 079-282-8211

